

Lion

IWATE

2013.3 MARCH

332-B地区 アクティビティスローガン

あした
強い絆で 創ろう未来



一関巖美溪ライオンズクラブ CN25周年記念式典報告

CN25周年に感謝、感謝!

一関巖美溪LC 会長 L.佐々木 親弘

3月16日(土)一関巖美溪ライオンズクラブCN25周年記念式典が巖美溪一関温泉郷石橋ホテルいつくし園において一関市長勝部修氏ほか来賓各位、千葉龍二郎地区ガバナーほか、キャビネット役員3R1・2Z各クラブ各位、姉妹提携クラブ300-C地区5R2Z越谷中央ライオンズクラブの参加をいただき、会員の手づくりの式典・祝賀会を開催致しました。

我がクラブは一関中央LCのスポンサーによりまして1988年10月12日岩手県で、54番目のクラブとして誕生いたしました。1989年、昭和から平成への年号変更の年1月16日、日本LC平成第1号の認証伝達式を挙行政致し、以来25年の節目を迎えることが出来ました。青少年健全育成事業に特に力を入れて地域社会に積極的に貢献して参ったものと自負しております。

会員16名と家族会員11名の小さなクラブであり、活動には限界



があり苦慮致しているところではありますが「奉仕の心」を忘れずに、特に会員の友情を大切に奉仕活動を取り組んで参りました。継続事業や周年記念事業も地域に密着し、地域を巻き込んだ事業に力を入れ、会員だけでは決してできないことを実施致しております。この度25周年記念事業においても地域小学校のお力をお借りし、名勝天然記念物指定「巖美溪」に小鳥用巣箱の設置を行いました。これは15周年記念事業に始まった継続事業の一つでもあり

ます。現在は野鳥のほか、ムササビなど小動物のすみかにもなり、毎年の清掃メンテナンスが楽しい行事となりました。

16名と少ない会員ですが、事業活動は常に児童や地域住民と一緒に、たくさんの笑顔があります。私たちの喜びは地域の喜びとなり、祝賀会においては巖美小学校のすばらしいブラスバンドで盛り上げていただきました。

今回は会場の都合により3Rだけのチャーターナイトでしたが、ご臨席の皆様においては、途中退席者もなく手と手を取り合い、また逢う日までご唱和いただきました事、誠に有り難く、感謝申し上げます。そしてまた次の節目に向けて「ウィ・サーブ」の心で地域社会と共に活動して参りますので、皆様にはなお一層のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



▲巖美小学校によるブラスバンドのアトラクション

奇跡の一本松

保存寄付金に感謝!

陸前高田LC 会長 L.菅野 征一郎

未曾有の東日本大震災から2年が過ぎた3月12日、地区ガバナー千葉龍二郎、小野寺宣文幹事、地区名誉顧問L米谷春夫、4R2Z・ZC L.毛利清平が陸前高田市を訪れ戸羽太市長に「奇跡の一本松募金」として300万円を持参しご寄付して頂きました。

千葉ガバナーは「奇跡の一本松は復興のシンボル、募金目標に早く届くように」と述べたのに対し戸羽市長は「ライオンズクラブからこれまで各方面より多大の支援を頂き、本日も多額の募金を頂き感謝に堪えません。ライオンズの偉大さを再認識した」と感謝のお言葉をいただきました。

陸前高田LCと致しまして、ガバナーの「We Serveの心で一隅を照



らし」て頂き感謝申し上げます。

保存事業は3月中に完成予定でしたが、一部の不具合が生じ工事のやり直し実施中で完成月日は未定との事ですが、完成の暁には「復興のシンボル・心のよりどころ」と

なる事でしょう。皆さんのおいでをお待ちしております。

今後とも皆様の温かい善意とご協力をお願いします。ありがとうございました。



奇跡の一本松
保存募金 (陸前高田市)

目標達成願う
300万円寄付
ライオンズ
ライオンズクラブ国
際協会3321B地区
(岩手県千葉龍二郎地
区ガバナー)は12日、陸
前高田市の「奇跡の一
本松募金」に300万
円を寄付した。全国各
ライオンズクラブや一
般が同地区に寄せた義
援金から充てた。
市役所市長室での寄
付贈呈には、千葉地区
ガバナーや小野寺宣文
キャビネット幹事、米
谷春夫元地区ガバナー
ら5人が訪問。千葉ガ
バナーは「奇跡の一本松
保存事業への寄付を手
渡す千葉ガバナー」
陸前高田



パナーは「岩手全体と
しても、復興のシンボ
ル。募金目標に早く届
くように」と述べなが
ら、戸羽太市長に手渡
した。
これに対し、戸羽市
長は「震災からの風化
が進む中、陸前高田の
交流人口を増やしてい
くことが重要と考えて
いる」と述べ、一本松
を活用した施策推進に
意欲を示した。

相次ぐ一本松保存支援

陸前高田

H25年3月13日掲載 東海新報

復興への軌跡

“生きながらの死”と心の蘇生を目指して

金ヶ崎LC会長 L.桐山 和夫



「人間の最大の悲劇とは何か、それは死ではない肉体は生きていても自分の内面で大切な何か死んでいく—この“生きながらの死”こそ悲劇なのです。人の心の中に巣喰らう「無力感」「冷笑主義」の打破を訴えられたアメリカの思想家ノーマン・カズンズ氏の言葉が忘れられません。人間として生まれたからには誰にも共通

した尊い“使命”があります。それは人間を信じ信頼しあうことではないでしょうか。たとえどうしようもない悲劇に直面し煩悶の中に人生を失ったとしても「人間を信ずる」という人間本来の在り方は絶対に忘れてほしくない。「いのち」というかけがえのない贈り物、それをどこまでも肯定し大切にしていく。他の人の人生

を、感情を絶対に否定しない。無上のものとして認めあっていく。人間として最も尊いその信頼の心だけは放棄してはならないと。

当クラブは2011年3月11日悪夢の大惨事が発生以来、地元もインフラの乱れの中に、テレビでの放映の悲惨な姿に何かアクションを起こさなければ、ライオンズ魂にどう動けばいいかと焦りさえ覚えている中、新女性会員・L.藤原瑠織が大船渡より支援を望む方を連れて来ていただきました。状況を聞くと被災者に毎日朝昼晩の食事を作る方々が疲れきっている、一食分でも応援してもらおうと助かる、とのことでした。早速材料調達等、準備に入り、温かいうどん、いなり寿司、たこ焼き300人分と水ポリタンクやガス、テント、看板等持参し大船渡



▲前小澤会長と小宮山厚生労働大臣ががっちり握手



▲温かい天ぷらうどん・いなり寿司・たこ焼き300食提供



▲陸前高田市立第一中学校避難所へ食事500食分とアイスコーヒーを提供。木村前会長を中心に継続して肉等の調達を続けました。



へ向かいました。小雨の中、瓦礫を避けてやっと通じた道路を走り、被災者の喜ぶ顔をバネに昼食を届けることが出来ました。

2度目の支援は11年7月、陸前高田市立第一中学校避難所へ豚丼・たまごスープ・アイスコーヒーを500名分提供させていただきました。その後、同所へ肉等の食材、お碗などもキャビネットの支援を頂きながら提供することが出来たのです。

12年7月には陸前高田市モリビア仮設住宅集会所へ家庭用カラオケ機2台と約80名分の昼食・飲物と提供し交流会を開催しました。唄踊りの先生も招き、陸前高田LCの皆さんとも素晴らしい交流ができたと思っております。後にこの支援の写真が岩手NPOボランティア情報誌PIN(パイン)の表紙に掲載されました。

12年11月、大船渡市野々田の屋台村・夢商店街へクラブで買い物ツアーに出かけてきました。その際の飲食店での安立さんとの出会いが13年2月の支援活動、「大船渡市長洞仮設団地公民館へカラオケを贈るプロジェクト」へと繋がっていきました。長洞地区は308世帯760人が住む県内最大の仮設住宅であり、公民館での住民の交流にカラオケ機があれば集会にも力が湧きます、とのことで

した。早速計画をたて、キャビネット・金ケ崎町の支援を頂き、総額42万を超える予算でカラオケ交流会を開催できました。唄踊りの先生もお呼びし、交流会での住民の皆さんの喜びはひとしおでした。参加したクラブ員全員がやりきった充実感で、感動をみやげに帰宅しました。

今後も出会い、情報を大切に、「無力感」の打破、心に希望の灯を点火し続けたいと思います。



▲盛り上がる交流会の様子



▲足立徳朗氏にカラオケマイクを渡す桐山和夫会長



▲長洞地区被災者と一緒に「北国の春」を大合唱

私の趣味は 飛行機 vol.2

IRIZ ZC L.篠木 清

空気が春の香りを運ぶ季節になりました。ライオン誌2月号に続き3月号も登場する事になり恐縮いたします。

被災から2年、復興が進まないと各地から聞こえてきます。復興を進めるには優先順位、効率や将来の心地よさが必要だと思います。困難を先延ばしにするだけでなく、前に進める事が大事です。

飛行機も楽しい事ばかりではありません。クラブハウスはいつも楽しい話で盛り上がりますが、他人の不幸は密の味、自分以外の失敗や苦労話は楽しいものです(趣味の話に関しては)。最近ではエンジンが停止するような事はなくなりましたが、スカイスポーツが日本に来た頃は知識も無く、よくエンジンが止まったようです。2月号で説明したように停止してもすぐ落ちることはありません。適切な場所を探し、時には田んぼ、畑、木の枝の上に降りた話で盛り上がりました。オスプレーではないですが、開発途中はそんなもんですよね？

実は私は2階建ての屋根に立つのも苦手です(怖い・小心者)。しかし操縦席に座りシートベルトを締めエンジンが回ると心がキュッと引き締まります。いざ離陸してみると今日は雲が低い。1000ft…1100ftかな？この程度だとテイクオフ間もなく雲と同じ高さになり、雲を避けて飛ぶと気持ちいいです。普段の生活では得られない3次元を体験できま



す。気流の良い日はまさに雲の上に乗っているようで眠たくなるほどに気持ちの良いものですが、いつも安定している日ばかりではありません。また山並みを低空飛行すると揺れます。それは空気が山を越えるときに空気の流れが変化するからです。慣れてくると揺れる場所が見えるようになってとか。

私が乗っている小さな飛行機の速度は100nt(160km)で、高さは500ft~5000ft(150m~1500m)です。500ft(150m)以下

は航空法で飛行禁止となります。

飛行機はスロットルを上げれば高度上昇、機体を下向きにすると速度が速くなり自動車の感覚では運転できません。機種により離陸速度が決まっています。失速速度の1.3倍で機首を少し上げるとあとは自立で上昇してくれます。楽なものです。操縦してみたくありませんか？なりましたね(笑)是非皆さんもフライトしませんか？いつでもお待ちしております。最後まで読んで頂きありがとうございます。感謝致します。

年間特集
第7回

復興への
槌
の
音



▲例会並びに年祝いの会



▲釜石地域中学校バスケットボール大会



▲「絆」心は一つがんばろう釜石 東日本大震災復興支援コンサート

「釜石リアスLC 会長」
L.佐々木 安密

私たちが襲ったあの東日本大震災から2年。最近、被災地の情報やニュースも、極端に減り、復興が順調に進んでいると思われがちですが、それは大きな誤りです。東北地方とそれ以外の意識の格差。平成23年3月11日、日本中の人々が、「絆」を誓い合ったはずなのに悲しい現状です。

近代製鉄発祥の地として栄えた釜石も、基幹産業である鉄鋼業の合理化の影響により昭和38年の9万2千人をピークに徐々に人口が減少し、平成23年12月末には、4万人弱となっております。そして、追い打ちを掛けるように、東日本大震災により、尊い人命が失われ、家屋・事業所が流出し、壊滅的な被害を受けました。

当クラブの会長であったL.坂元琢夫も大津波の犠牲となり、多数のメンバーも被災されました。平凡な日常の暮らしが、喪失を経て、愛おしく痛感したことを覚えております。一時は、クラブ解散か否か？存続の危機に直面しました。昨年1月末、LCIFの支援に

より釜石市定内町に事務所を建設し、通常通りの活動が再開できるようになり、例会も今では、月2回開催しております。

2月20日の例会は年祝いの会を兼ねて、5名の方々の長寿を祝い和やかに開催いたしました。アクティビティも8月、北海道富良野町立東中中学校生徒の獅子舞と鶴住居町の虎舞の競演、津波体験や避難時の話・箱崎町での漁具作り体験等々の文化、地区交流会を実現。残暑厳しい9月、復興支援コンサートを開催したくさんの観客を総動員いたしました。コンサートには、千葉LC所属、ヴァイオリニスト加藤玲名さん、えひめ憲一さん、地元からは、吉田守さん等々にご出演願ひ音楽の力で被災された方々には、元気と癒やしを届けて頂きました。玲名さんには、当クラブを通じ、震災後、千葉でのコンサートの募金活動で鶴住居小に給食棟用ダストボックスや、釜石東中学校に、顕微鏡外、理科教材を寄贈しておりますが、今後も釜石市の小・中学校への支援活動を継続して下さるとのことです。記憶が、風化しつ

つある中で、頭の下がる思いでございます。

11月第22回釜石地域中学校バスケットボール大会を開催。震災にもめげず勉学に、そして部活に打ち込む生徒たちに元気をもらいました。皆様方から温かいご支援を賜り、何とか従来通りの諸行事を開催することが出来るようになりました事、会員一同心より感謝申し上げます。

市街地は、現在、瓦礫を撤去した跡の更地となっておりますが、かつての「鉄と魚とラグビーの街」自然に恵まれた風光明媚な街を取り戻せるように復興の槌音が、響き渡る日が、一日も早く訪れますように願っております。

Club Data

5R2Z

釜石リアスライオンズクラブ

事務所：釜石市定内町2-7-14
TEL：0193-25-2299 FAX：0193-62-2299

会長 佐々木 安密
幹事 高橋 正男
会計 清水 陵吉

- 会員数 26名
- 結成日 1968.4.21
- チャーターナイト 1968.10.13

例会日 【第1水曜日】12:15～
【第3水曜日】18:15～

例会場 釜石市大町2-3-3
ホテルサンルート釜石

ライオンズクラブ国際協会332-B地区

第59回 年次大会 ご案内



地区大会会長・地区ガバナー
L. 千葉龍二郎



地区年次大会委員長
L. 中島達雄

2013年5月12日(日)

第59回年次大会テーマ

希望

四季の移ろいは早く、厳寒の冬を越え、木々の芽膨らむ緑鮮やかな季節となりました。あの忌まわしい震災から二年が過ぎ、僅かずつながらも復興の芽吹きも感じられる昨今です。

今からちょうど90年前の大正12年、東京は関東大震災に見舞われました。奈落の底に落ちた大都市東京を再興させるべく、雄雄し

くその先頭に立った人「後藤新平」。彼の稀有壮大な計画は「大風呂敷」と嘲笑されましたが、昭和通りをはじめとする規格外の骨格道路等は帝都復興の礎となりました。その後藤新平生誕の地・水沢で第59回年次大会を開催いたします。

被災地の一日も早い復興を強く願いながら、「一隅を照らす」ア

クティビティを通年続けられたことを確認し、友情と友愛の精神溢れる地区内会員が相集い、未来(あした)を話し合う。「希望」の持てる年次大会になればと願うものです。

3R1Zのホストクラブメンバー一同が心からの歓迎をさせていただきます。皆々様のご参加をお待ち申し上げます。

代議員会	会場	奥州市文化会館Zホール[中ホール] 〒023-0003 奥州市水沢区佐倉河字石橋41番地 TEL.0197-22-6622
	受付	9:00~9:20
	委員会	9:20~9:40 ・資格審査委員会 ・議事運営委員会 ・指名選挙委員会
大会式典	開会式・投票	9:45~10:10
	決議会	10:10~11:00
祝賀会	会場	奥州市文化会館Zホール[大ホール] 10:00~10:50
	式典	11:10~12:30
祝賀会	会場	プラザイン水沢 〒023-0003 奥州市水沢区佐倉河字後田29 TEL.0197-25-8811
	時間	13:15~14:45



開催日

5月11日(土)

会場

栗駒ゴルフ倶楽部
〒023-0003
金ヶ崎町永沢石持沢6-44
TEL.0197-44-3811
FAX.0197-44-2119

競技方法

18ホール
ストロークプレー
(ダブルリペア方式)

新聞で見る 2月の アクティビティ

岩手日報
2月8日
掲載



水沢中央LCの及川会長（中央）から助成金を受け取った及川隊長（左）と菊地団員長代理

健全育成に役立てて

水沢中央 LC 2団体を助成

奥州市の水沢中央ライオンズクラブ（LC）及川憲会長は5日夜、本連盟岩手県第9団（石川タミ子団員長）に助成金計5万円を贈った。

大船渡の仮設に カラオケを寄贈



岩手日報
2月13日
掲載

金ヶ崎ライオンズクラブ（桐山和夫会長）は11日、大船渡市猪川町の長洞仮設住宅（308戸）の入居者である住民組織・長洞地域公民館（足立徳朗館長）にカラオケ機材一式を寄贈した。

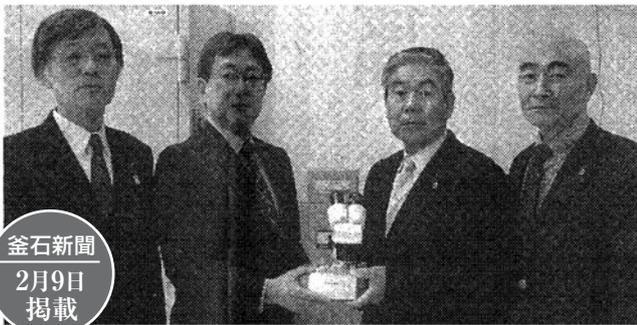
同クラブの会員や家族ら17人が、同仮設住宅内にある同公民館の建物を訪ね、入居者との交流会を開き、桐山会長が足立館長にカラオケマイクを手渡し機材は中古で21万円

相当。購入費と交流会の費用は同クラブが負担した。同クラブが昨年11月、同市内の仮設飲食店を訪ねたことが寄贈のきっかけ。桐山会長は「多くの入居者の皆さんに使っていただき、少しでも元氣

になってほしい」と期待した。足立館長は「人の縁から生まれた贈り物に感謝の言葉しかない。入居者同士の交流やストレス発散のため、大切に使用させていただきます」と喜んだ。

釜石東中に 顕微鏡贈る

バイオリニスト 加藤玲名さん コンサートで募金



釜石新聞
2月9日
掲載

千葉市在住のバイオリニストで千葉ライオンズクラブ会員の加藤玲名さんは4日、交流のある釜石リアスライオンズクラブ（佐々木安密会長）を通して釜石東中（平野憲校長、生徒165人）に双眼実体顕微鏡2台など理科備品（15万円相当）を寄贈した。加藤さんは震災後、音楽を通して支援活動に精力的に取り組んでいる。昨年3月に千葉で開いた震災チャリティコンサートでは募金活動を行い、同校と鶴住居小の仮設校舎の給食棟用にごみ箱を寄贈。9月には釜石で行われたリアスライオンズクラブ主催の支援コンサートに出演し、美しい演奏で被災者に元氣と癒やしを届けた。

「引き続き鶴住居の子どもたちを応援したい」と昨年11月に千葉でチャリティコンサートを開催。会場で寄せられた募金で、釜石東中が希望した顕微鏡などを購入した。4日は、リアスライオンズクラブの佐々木会長、佐々木丘第2副会長、会計の清水陵吉さんが同校を訪れ、顕微鏡などを届けた。佐々木会長は「加藤さんの気持ちを大切に使用してください。不足しているものがあれば今後も支援していきたい」と伝え、平野校長は「理科教材がまだまだ不足しており、授業が大変だったので本当に助かる。大切に使用させていただきます」と感謝した。

今月も新聞紙上を賑わせました!!

February Activity

1R1Z		
盛岡	11日	東日本大震災被災地支援 買い物バスツアー
盛岡不來方	11日	東日本大震災被災地支援 買い物バスツアー
	28日	東日本大震災 義援金送金
盛岡中津川	8月17日~2月7日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	2日	献血推進活動 バレンタイン献血
	10日	盛岡中津川LC杯争奪第34回盛岡地区少年剣道大会
	11日	東日本大震災被災地支援 買い物バスツアー
	22日	薬物乱用防止教室
盛岡親武		
盛岡南	11日	東日本大震災被災地支援 買い物バスツアー
滝沢	11日	東日本大震災被災地支援 買い物バスツアー
	14日	献血推進活動 バレンタイン献血
玉山姫神	11日	東日本大震災被災地支援 買い物バスツアー
	26日	啄木かるたへの協賛金拠出
1R2Z		
岩手	20日	使用済み切手 2000枚送付
葛巻	25日	ひかりの箱募金
	26日	使用済み切手 2000枚送付
二戸	4日	薬物乱用防止教室
	12日	献血推進活動
西根	13日	薬物乱用防止教室
安代	9日	第18回安代LC杯安代地区スキー教室
2R1Z		
花巻	11日	献血推進活動 バレンタイン献血
	6月~2月	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
紫波	5日	東日本大震災支援金 紫波町に贈呈
	5日	チャリティーバザー 益金を社会福祉協議会へ寄付
	7日	にいやま荘 百寿の郷慰問
	8日	新一年生のための防犯・交通安全教室へ協賛
石鳥谷	20日	石鳥谷レオ 卒業レオを送る会
大迫早池峰		
花巻東	6月~2月	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
東和猿ヶ石	17,26日	東和温泉へのご招待
矢巾	2日	直接献血
	9日	矢巾町民劇場協賛
	15日	新一年生のための防犯・交通安全教室へ絶賛
2R2Z		
北上	1月4日~31日	資源回収リサイクル
		地球浄化保全リサイクルへの交付金(事業資金獲得)
和賀	1月25日	資源回収
	13日	献血推進活動2ヶ所
	28日	大船渡市立赤崎中学校 義援金贈呈式
北上国見	19日	献血推進活動
	26日	使用済み切手2271枚送付
江釣子	10日	献血推進活動 バレンタイン献血
	15日	資源回収
	22日	使用済み切手 6000枚送付
3R1Z		
水沢	6日	リーディングアクションプログラム
	20日	善行賞
江刺岩手	2日	第7回江刺岩手LC杯フットサルカーニバル
	2日	えさし声の広報創立30周年記念の集い
	3日	江刺国際交流協会 2013年新春交流会
	6日	献血推進活動
前沢	17日	献血推進活動 バレンタイン献血

水沢中央	5日	スカウト協議会助成金
	7月~2月12日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	26日	ひかりの箱募金 送金
金ヶ崎	9日	献血推進活動 バレンタイン献血
	11日	東日本大震災支援 長洞公民館にカラオケセット寄贈
	1月21日~2月8日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト 展示会
胆沢岩手	15日	ひかりの箱募金 送金
	28日	LCIF\$1000献金
	28日	胆沢地区区内小中高等学校生 児童生徒表彰
3R2Z		
一関	28日	使用済み切手 2000枚送付
平泉	8日	献血推進活動 バレンタイン献血
花泉	22日	使用済み切手 1500枚送付
一関中央	2日	献血推進活動
	27日12日	使用済み切手 1000枚送付
	17日	東日本大震災被災地支援 復興支援買い物ツアー
	28日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト 表彰式
一関巖美深	28日	新入学生に黄色いランドセルカバナー贈呈
	2日	重度障害者の会「ぼけっこの会」支援
	3日	一関雪まつり 支援
	24日	献血推進活動
4R1Z		
千厩		
大東岩手	3日	大東読書まつりへの後援 支援
東山		
藤沢岩手	25日	ひかりの箱募金 送金
川崎岩手	27,30日	直接献血 2名
室根	17日	室根町読書のつどい ブックスタート事業
4R2Z		
大船渡	20日	声の図書館 整備
陸前高田		
住田	1日	世田米、有住保育園節分行事
大船渡五葉	26日	ひかりの箱募金 送金
5R1Z		
宮古岩手	16日	宮古岩手LC杯第12回中学生バレーボール大会
久慈	7,28日	使用済み切手 5561枚送付
田老		
陸中宮古	20日	桜ヶ丘ボランティア団体代表者懇談会
	23日	宮古岩手LC杯第12回中学生バレーボール大会
田野畑		
岩泉龍泉洞		
5R2Z		
釜石	20日	第380回LL奉仕活動
	22日	使用済み切手 344枚送付
遠野	25日	リサイクル品の回収
	26日	使用済み切手 1000枚送付
	26日	使用済み切手 1000枚送付
釜石リアス	4日	釜石東中に顕微鏡寄贈
	25日	使用済み切手 1000枚送付
大槌		
陸中山田	8日	山田町児童生徒科学研究発表会後援
ライオネスクラブ		
西根	13日	薬物乱用防止教室
レオクラブ		
盛岡	23日	世界のカレンダー展 益金贈呈式
早池峰		
石鳥谷	20日	卒業レオを送る会
北上		
一関二高		
釜石	25日	卒業レオを送る会

第二回GMT・GLT委員会開催

3月18日(月)今年度第二回目となるGMT・GLT委員会が奥州市水沢区内で開催されました。
当日は小雨の降る肌寒い日でしたが、332-B地区から総勢69名もの担当役員並びに担当ライオンが

参集しました。第一部はそれぞれの分科会に分かれ、その後第二部で全体会というスケジュールで開催されました。
L.種市一二GMTコーディネーターとL.後藤成志GLTコーディネーターのお話をうかがい、改めて「会員拡大とリーダーシップの重要性」について再認識させられました。この日に受けた講義の成果は、所属クラブに持ち帰り行動で示してほしいと思います。

全体会の様子



▲全体会の様子



▲分科会(GMT)の様子

雑感 「龍声」

地区ガバナー
L.千葉 龍二郎

今年もキャビネットの総決算とも言うべき、第59回B地区年次大会が5月12日(日)に迫って参りました。愈々との感もしますが、緊張しているといった方が本音であります。
「東日本大震災」の大きな痛手を受けた332-B地区がこの2年間という変化が起き、今後どう我々クラブが活動していくのか、試行錯誤の時が長く続くものと思います。しかし我々には、前進することのみ与えられているの

です。
さて今大会のテーマを「希望」といたしました。被災地として世界の各地から、又国内7複合地区のメンバーはじめ、あらゆる方面からのご支援に感謝をし、我々に物心両面に亘り暖かい励ましと友情を頂きました。我々は今後いかなる情勢にあらうとも、感謝の気持ちを忘れることが出来ません。又この支援に酬いる為、日々の努力と会員一人一人が今まで以上にWe Serveの気概でライオンズの

活動をおこなって行きます。
B地区年次大会には多くの会員の皆様を奥州・水沢の地でお待ちいたしております。キャビネット役員やホストクラブの方々と精一杯のおもてなしの心でお迎えいたします。どうぞ家族会員共々ご参加を頂きたくご案内いたします。
各地より桜の開花の便りが届く季節となりました。会員の皆様どうぞ御自愛のほどお祈りいたします。

訃報



故 L.森川 満
享年84歳(矢巾LC)
1974年4月入会
2月13日逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

会員動向

2月 新入会員一覧

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
滝沢LC	千田 幸一
大槌LC	千葉 恵子
	八幡 幸子

2月 LCIF1000ドル献金者

クラブ名	会員氏名	回数
胆沢岩手LC	千葉 利幸	1

アクティビティ Photo グラフ

花巻LC



献血推進活動

金ケ崎LC



国際平和ポスターコンテスト

西根LC



薬物乱用防止教室

和賀LC



義援金贈呈式

岩手江刺LC



献血推進活動

玉山姫神LC



啄木かるたへの協賛金拠出

室根LC



ブックスタート事業

釜石レオ



卒業レオを送る会

盛岡中津川LC



盛岡地区少年剣道大会

江釣子LC



献血推進活動

一関中央LC



国際平和ポスターコンテスト

滝沢LC



献血推進活動

編集後記

東日本大震災から早二年。発災直後は様々な団体が復旧に向けての物資の支援や瓦礫処理などのボランティア活動がなされておりましたが、日を追うことにその数も激減しているようです。我々ライオンズクラブも同様であり、息の長い活動が求められています。最近の支援活動等で、ご紹介できるものがありましたら是非お寄せいただきたいと思います。震災を風化させない取り組みや、後世に語り継ぐ為の活動等何でも結構です。震災に寄り添いながら逞しく復興する被災者の大きな力を我々の日々のクラブ活動に活かしてゆきたいものと思っています。残り3回の発行となりましたが、編集委員一丸となり会員の皆様に喜んでいただけるよう全力で取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。

広報委員 L.佐々木利幸

表紙の説明：国道397号線沿いの桜の回廊(仙北街道)

在郷軍人により、昭和13年頃に植栽されたのが始まりと言われ、その後地域の様々な団体により補植され、今では徳水円から胆沢ダムの手前まで約5キロに渡っての1,000本の桜の回廊が観光客を楽しませています。特に徳水円で開催される「水の郷さくらまつり」時期の4月下旬から5月の連休までは夜間ライトアップされ、ドライブや観光等で訪れる人々に幻想的な美しさをお見せしています。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

広報委員会

発行 2013年3月25日

発行人：L.千葉龍二郎

広報委員長：L.久慈勝範

副委員長：L.平澤真樹

広報委員：L.岩淵正義、L.高橋晋、L.高橋テルミ

L.千田郁夫、L.佐々木利幸

デザイン：有限会社 アドスタッフ

印刷：株式会社 正和印刷所

編集事務局：〒023-0818 奥州市水沢区東町4番地

タイコー壱番館水沢商工会館ビル3F

TEL(0197)23-6516 FAX(0197)23-3176